

## 7. 民間企業の被害状況（岩手県・宮城県）

東日本大震災では、多くの民間企業においても津波の被害を受けた。一度に多数の犠牲者をだしている民間企業は次の通り。

県	市町村	企業名	標高	海岸線迄	建物	犠牲者
宮城県	女川町	七十七銀行女川支店	1m	約 100km	2階建	行員 12 名
宮城県	山元町	常磐山元自動車学校	2m	約 800m	2階建	教習生 27 名、運転中職員 4 名、 校舎で職員 7 名

【注】標高は地理院地図(電子国土Web)より、海岸までの距離は Google Earth による。

### 【民間企業の状況】

#### 1) 七十七銀行女川支店

支店建物(2階建)の屋上へ避難。当時 13 名の行員がいたが 12 名が犠牲となった。仙台銀行、石巻信用金庫の行員らは高台へ避難して無事。

※被害者の家族が訴訟をおこしたが一審では遺族側請求が棄却されたため即日控訴している。

#### 2) 常磐山元自動車学校

地震後停電となったが校舎で約 40 分待たされ、授業再開不可の判断があつて車 7 台で 32 人を送迎中 4 台の車が津波に巻き込まれて、教習生 27 人と運転していた職員 4 名が犠牲となった。また、校舎に残っていた職員も避難が遅れて 7 名が犠牲となっている。

※教習生の遺族が施設側を提訴し、現在公判が進んでいる。

### 【考察】

いずれも、管理者が建物内に待機するよう指示したことが結果的に一時に多数の犠牲者を出すことになってしまった。同様の状態にある企業が、早期に避難したことにより被害を逃れていることから悲しい結末となった。犠牲者を出さない対策としては、津波等の災害から被害を受けない立地条件に建物を建てておくことしかないことになる。